

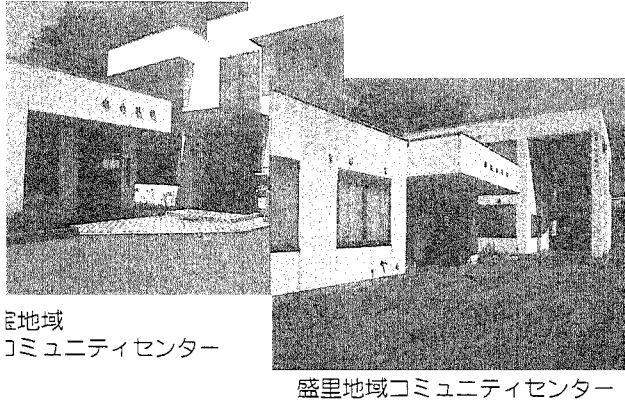
生涯学習通信

生涯学習施設の紹介 4

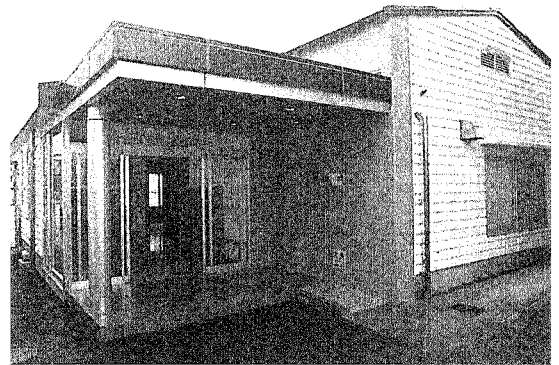
地域コミュニティセンター

これまで、市にある生涯学習施設として、文化会館、公民館、図書館、ふるさと会館、各種体育施設などの紹介をしてきました。もうひとつ欠くことができない施設として地域コミュニティセンターがあります。

それでは、地域コミュニティセンターはどのような施設でしょうか。大きく分けると二つの面があります。



禾生地域コミュニティセンター



東桂地域コミュニティセンターいこいの家

コミュニティセンターの主な活動

住 民

- 「各地区運営委員会」の設置
- 地域社会のビジョン策定
- アンケート調査
- 高齢化・情報化への対応
- 文化活動として
(講演会、ふれあい教室など)
- スポーツ活動として
(各種教室、講演など)
- 農産物・不用品の即売会
- ボランティア活動を主眼とした催し物
- ふるさと交流

行 政

- 行政一般相談
- 市役所との連絡・調整
- 「各地区運営委員会」との連絡・調整
- 財政措置
- 情報提供、技術的援助
- コミュニティ活動の企画・推進
- コミュニティ活動のための便宜の供与及び指導・助言
- その他コミュニティ活動を遂行するために必要な事業
- 従前の窓口業務

まず、一つ目としては、窓口業務、行政相談、コミュニティ活動の企画、推進、さらには地域と市役所との連絡、調整等、地域に密着した行政サービスを行います。

二つ目としては、地域づくり活動や文化・スポーツ・ボランティア活動等、生涯学習活動の場として利用することができます。

特に、地域づくりについては、住みよいまちを築くために地域に住む人たちが、知恵を出し合い、協力し合って地域の課題を解決していくことが必要となってきます。そこで、このような地域課題を解決するための援助を行う役割もっています。

これからますます地域の皆さんの身近な施設として親しまれ、豊かなふるさとづくりの場として活用されますようお願いいたします。

第一回都留市生涯学習フェスティバル開催

「自分をつくり、都留をつくる学びのまちづくり」をテーマに、第一回都留市生涯学習フェスティバルが二月十二日、来賓、市民約二百人が参加して、文化会館で開催されました。

本フェスティバルでは、生涯学習推進本部長の都倉市長ならびに生涯学習推進会議の武井会長あいさつと、来賓祝辞のあと、「今、なぜ生涯学習か」をテーマにシンポジウムが行われました。

シンポジウムでは、都留市社会教育委員の会伊藤敏委員長をコーディネーターに、都留文科大学生社会学科教授の畑潤先生からは、「学びを通して、自分を再発見してほしい。そして、市民自身が主人公でありたい。」また、元全国町村教育長会会長の上矢龍男先生からは、「地域づくりのための生涯学習を振興してほしい。」最後に、山梨県生涯教育研究会会長の保坂豊子先生からは、「生涯学習は、男女共生でありたいし、男女は車の両輪でありたい。」といった内容のお話をいただきました。

また、午後からは、生涯学習推進会議各部会からの経過報告の後に、映画・テレビ等でも活躍されている「現代の語り部」沼田曜一先生を招き、語りと横笛で綴る民話の世界を堪能しました。



生涯学習推進会議
生涯学習普及・啓発部会

